清水道中金比羅草鞋

六

仙藝文庫

逍遥文庫
文庫6
1004
6

文庫6
1004
6

方言修行金草鞋

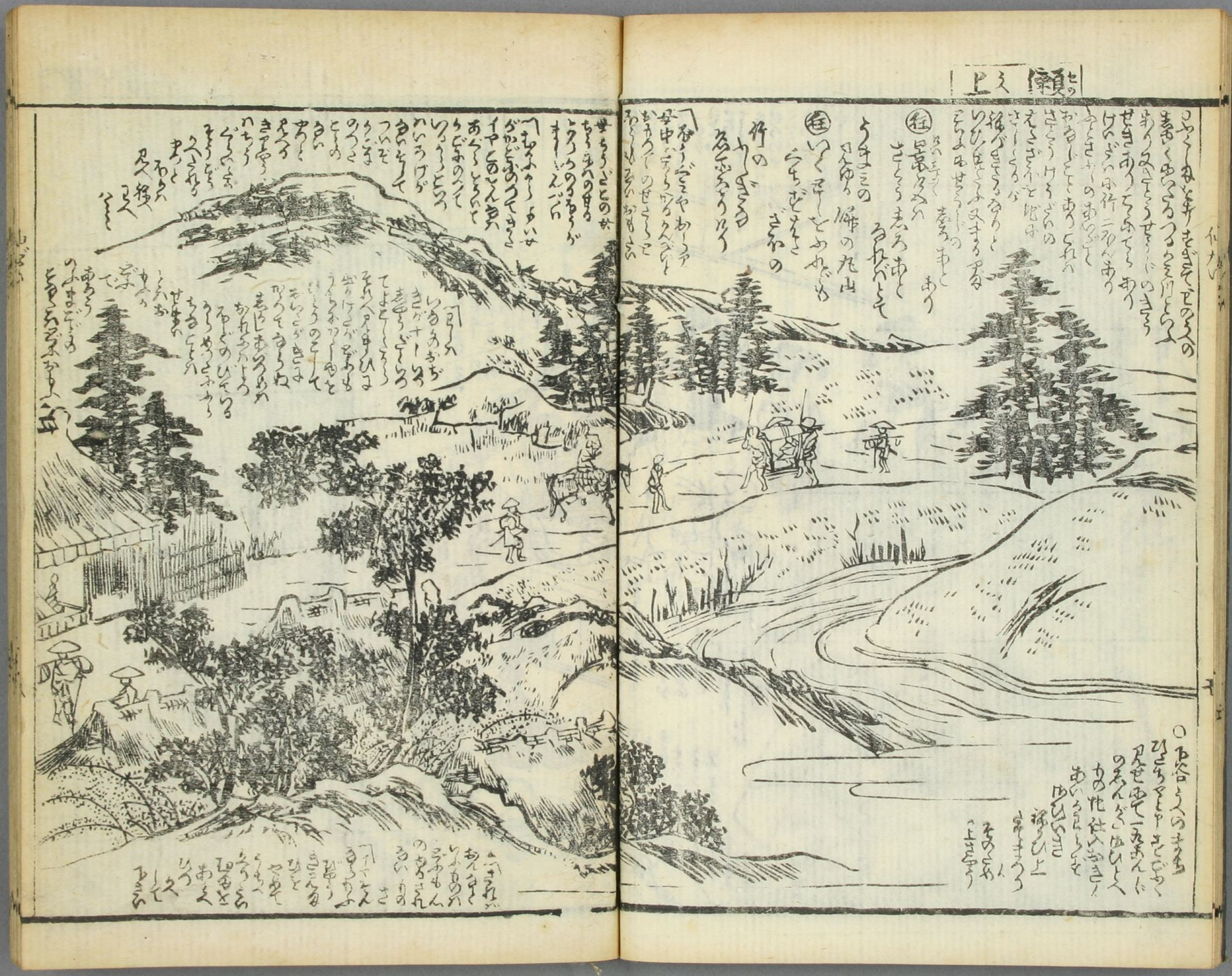
去年東都おのび花洛浪華伊勢参宮道の紀行を著し
奥州山形の狂士々階猶を編集せしが詳よおこなわれて
ここ年又生駒の需るよ任せ本留乃事の口上書を面編しし
行ようと北信を経て鹿島香取生駒の三社諸侯より紙代を受
日光の御山まるまでを五編にし其除る多街を仙台まで
六年間中まれし都合四五六の三年中校正し年ぬ無
作者不知安永の道動を見て後清丸し諸説又ならるべし
地図をこの稿員を以をのこの事ヒ
所本の年書ものもまとかくの出版
五年間八要海を経て歌を経る
[illegible]
所吉海を長川西を通る事を
[illegible]

十返舎一九戯誌

大福屋
富
萬小間物

御酒

後後ゆ　二リ
世の上　一リ
さ〻ま　一リ
ふり坂　二リ
きひも　二リ
さら谷　三リ
大沢　三リ
出羽屋沢

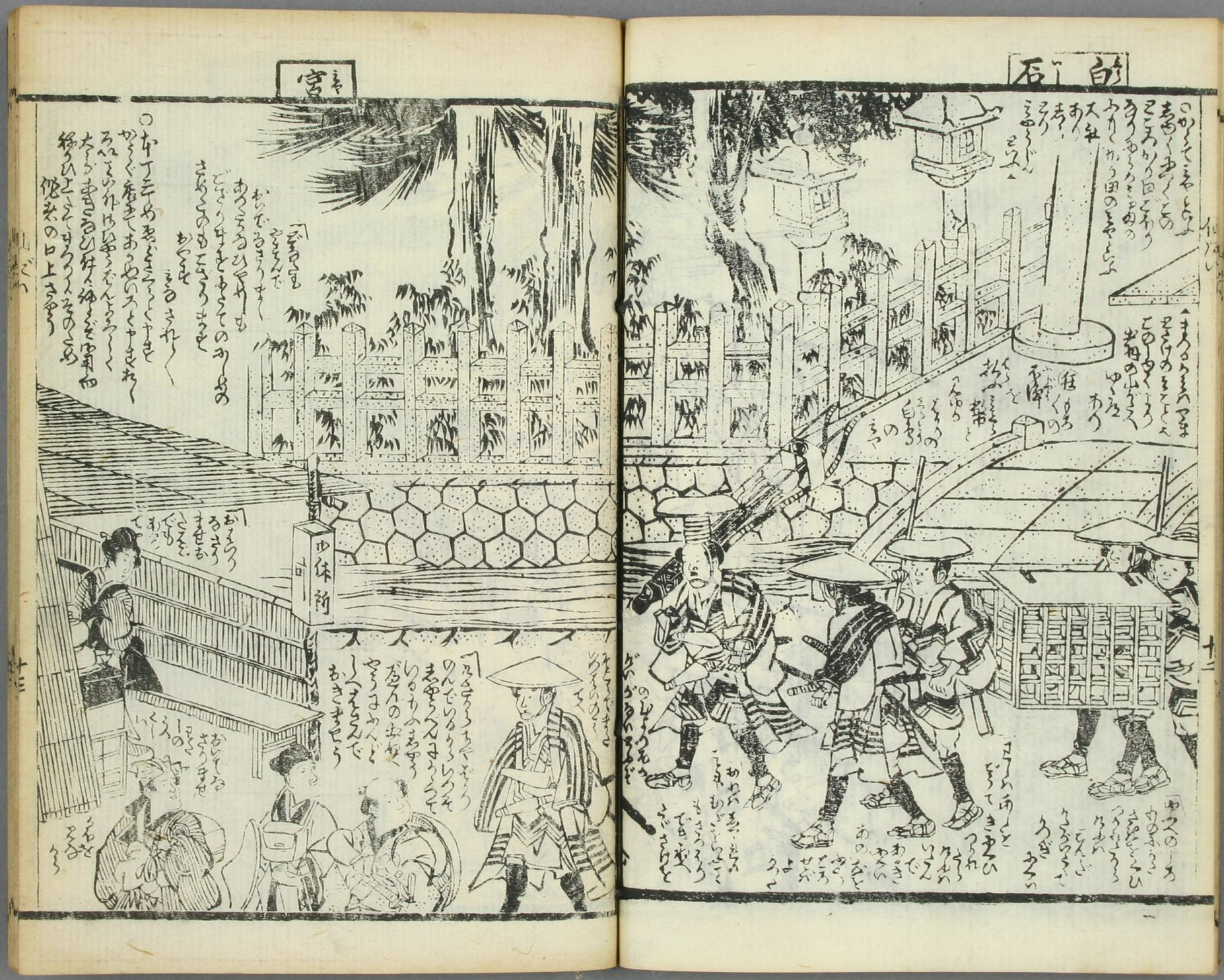


二葉の折
小坂一里
上戸沢一里
十戸沢一里
関一里余
上山一里
六田一里
飯田二里
尾花沢二里
本沢
屋田屋
さつげとせ

見山国
亀割坂
伊達の大木戸

幸川
仙太郎
十一

十二
幸井町 松塚や幸太郎店


白石
宮
中体所

奉納花籠一對
広敬家
童子書狀亀鑑
十返舍集一冊
板元 金林堂

中まち田

○中田のしゅくとおもてぎそ　さいろ
はるふこあくも中まちのしゅくふいるる
てんぐどいのはぐそんふくちらるふ
ちぐひこらのもこふあぎちしく
あきるいあせそれくふそんぐやの
ているえさう

（狂）かぜてよろ里及ぶしふ
ちぐひるん
まん中まちの
ちぐくのえん者う

（狂）あ例のるぐるわ
よん中まちふ
堤もせまきあ人の
みぎさい

「まめこそろハこの
くろのぐるる什の
やしふまちぐぐで
ぐうしきかのぐろ
どれそるとろて
ふれるろるのろ
きろくくうさぬ
てえれうけあい

「イヤ
ちらちろちで
ぐろうひしろく
とーぶ学ず
くくうきの
ろるやう
ぬかあつ
ちのとめで
おろう

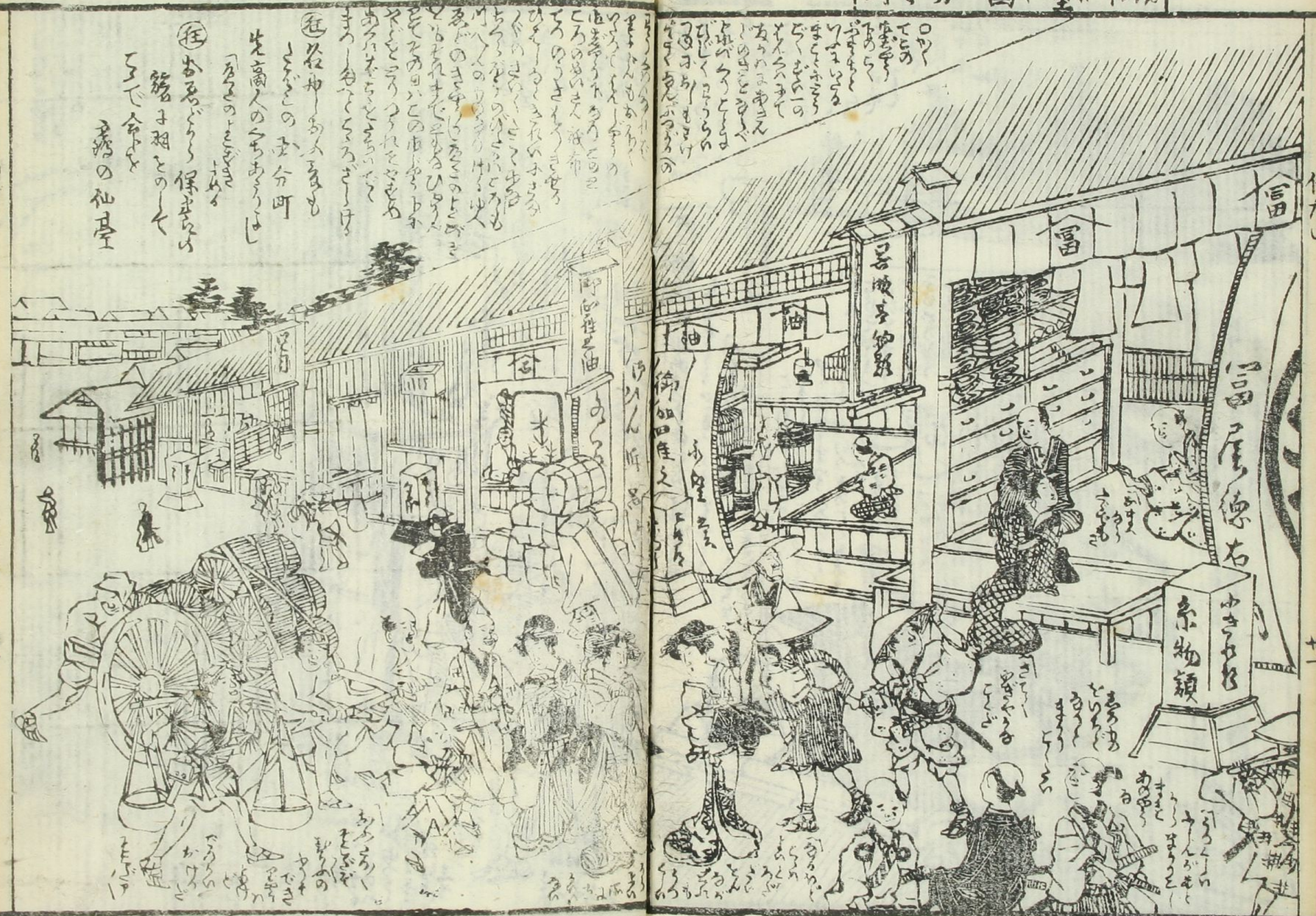
「ちんとと
ちまうま
ちちろく
ちろるてんそ
おやうもきん
ませ

「まい什ところので
ろるとことろいでるうことのまきを
ろろくぐやふさつろくくろろ
いきくろうどれぐずゆぐれそん
ぬくくぬろれてくろるくとの
まきこくこくぐちうふこと
ろしもぐあ十紙ゆきをと
ろてあくくかついぐまきを
ぐあくくちくと
ちふくろくそん
ろろくろるも
行ろろ
ぐろうくろい
みぐ

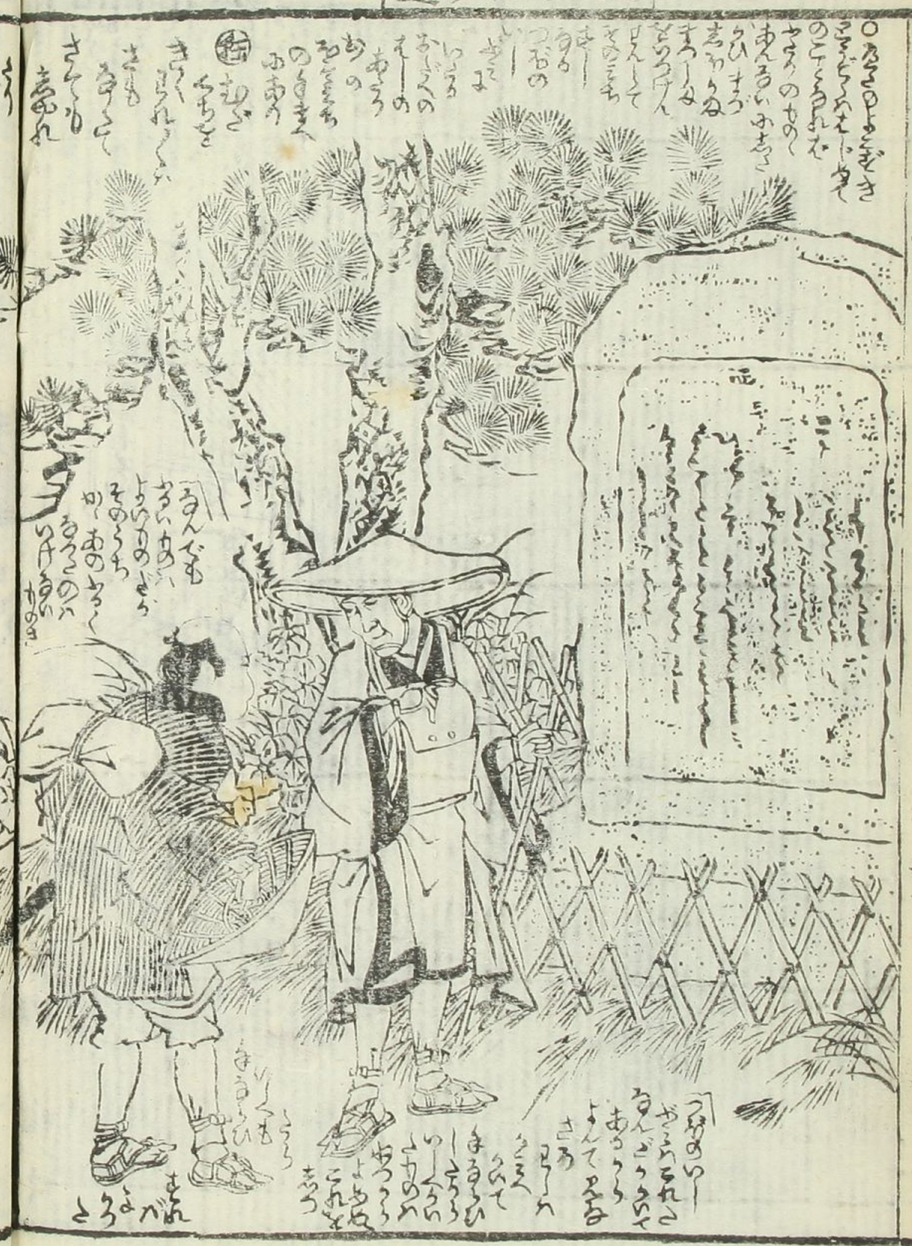
「ちろろ
よのぐ
ろきるる
ろくて
ぐれぐうさく
ろろくて
ゆくてしい
きまるのろん
あてしいく
ゆぐくおてくの
ろのいろぐちろ
くんこゆくうく

「十二ちるろうさん
ちろいうきを
ふぐくるとの
こくいろ
のろろい
のぐゆよ
いろぐろく

「えんぐぐきめと
きをてゆとんけさて
まぐておく
ゆあくのぐき人
きくくろんゆくと
ろふよくの母ぐうん
ぐりりりめくろろ
ておろるくみ



(狂)名所一覧人をも
しるべこの分町
先高人の心ちあらうはし
「ろくのようぎき
(狂)名ぐるぐる保ぎらい
鶴は翔とのして
ろくで命よと
露の仙臺



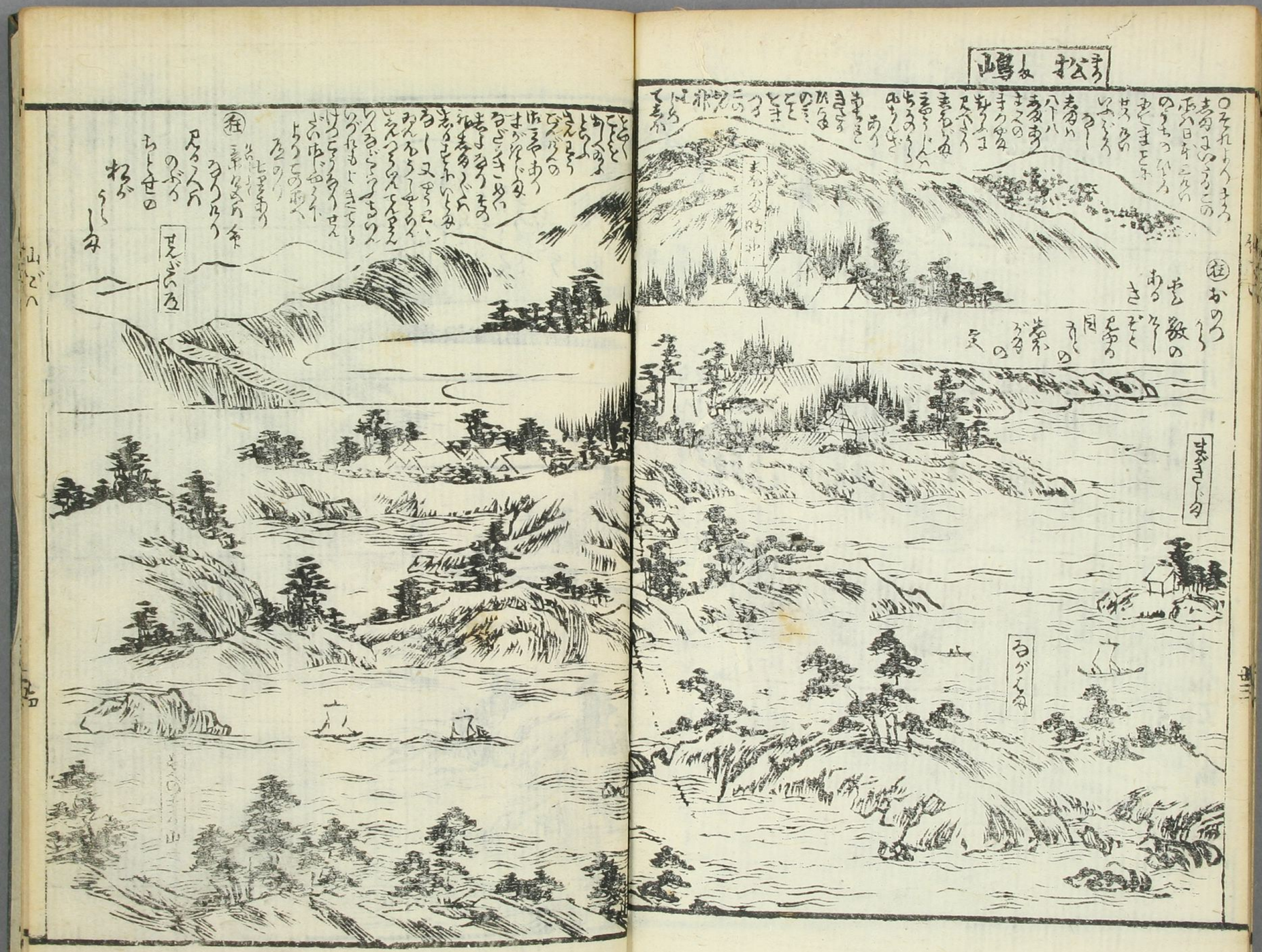
壺石碑銘

去京 一千五百里
多賀城
去蝦夷国界一百二十里
去常陸国界 四百十二里
去下野国界 二百七十四里
去鞆渡国界三千里

此城神亀元年歳次甲子按察使兼陸奥守将軍従四位上勲四等大野朝臣東人之所置也天平寶字六年歳次壬寅参議東海東山両道使従四位上仁部少卿兼按察使鎮守将軍藤原恵美朝臣朝獲修造也

天平宝字六年十一月一日

勝栗毛殿端 全一冊


まつしま
嶋
まつしま
ゑびす
山でら

二実
五大堂
金花山

○陸奥ハ東山道ハ筒國の首日本東北の隅往昔ハ二十六郡後ヨ五十四郡と成但十ハ六町を以て一里とし今又奥地の土民六里を以ハ今の一里計ニ当る五里

○白河　盤瀬　會津　耶麻　五十四郡　一之宮　塩竈大明神
丹田　柴田　名取　菊多　安積　安達　信夫
宇多　伊具　亘理　宮城　磐城　標葉　行方
玉造　志太　栗原　黒川　盤井　江刺　賀美　邑森
新田　小田　遠田　気仙　膳夫　長岡
大沼　和賀　河内　稗貫　牡鹿　登米　桃生
稲郡　鹿角　階上　津軽　高野　志大　阿曽沼
我機　石川　金原　閉伊　宇田　本吉　大名門
星河

以上

○仙臺　坤に戸ふる　○寅卯松橋より　○東海道より　坤余津多松の酉戌出羽秋田ふる　○神酉境上より　○午未常陸水戸より　○卯辰金花山　○午未相馬　○北南新森　○巽子伊弘前　百二里　○會津　若松　戸ふる七十二里　○白石　坤二本松へ十四里半　○二本松　午未戸ふる六十六里余　○福島へ十七里　○白石へ十四里半　○岩城　戸ふる　○棚倉　戸ふる十八里　○平泉　戸ふる十三里　○三戸ふる十七里　○白川　戸ふる十九里　○二本松へ十七里　○三春　戸ふる六十里　○福島　七十一里　○柳川　戸ふる　○白川通六十五里半　○一之関　戸ふる十一里　○石巻　南部一の関より松島へ九里余花山八町上一里　○中村　戸ふる七十八里

仙臺より南部盛岡に道法　陸奥ハ　おゝ中ゝり

仙臺より一里半　七北田　二里　新町　一里　吉岡　三里　三本木　一里半
古川　一里　阿良屋　一里　高清水　三里　岩本　二里　金木林　二里
石壁　一里半　一関　半里　山目　三里　舞沢　三里　水澤　一里　金崎　二里
鬼柳　二里　花牧　四里　国山　四里　南部盛岡

方言 飛行金の事

十返舎一九編

東京 丸屋善兵衛

早稲田大学図書館
011688991856